

令和5年度公益社団法人朝日町シルバー人材センター事業計画

はじめに

新型コロナウイルス感染症収束が見通せないまま4年目を向えています。この間、社会経済活動全般にわたって大きな影響が生じていますが、当然のことながら当センターも影響を受けることとなりました。特に会員交流を伴う独自事業が大きな打撃を受けました。

仕事量について契約金額ベースで見ると令和2年度は53,600千円で前年度から約4,800千円の大幅な減少、令和3年度は54,700千円で約1,100千円もどし、令和4年度は見込み額で大幅に増額となり、回復傾向にはあるが、コロナ前の令和元年度と比較すると約2,000千円以上少ない状況です。

一方、会員数の拡大は令和2年度に若干減少するものの126名、令和3年・4年度は7名増員の133名、特に女性会員は6%の増員となりました。退会抑制の取組みとして、就業することが困難になった会員のための「いきいき会員制度」を令和元年度に設置したことにより、退会者が少なくなったことも要因の一つであります。

また、コロナ禍での人手不足分野が増えていることを痛感する今こそ、新入会員確保を積極的に進め就業拡大確保に努めます。

そして、本年10月1日から、消費税の課税負担に伴うインボイス制度が導入される予定となっています。その一方、政府ではシルバー人材センターと仕事の依頼者そして会員との契約形態の見直しを図り、課税負担者の変更を検討しています。

いづれにしても、運営上大きな課題であるが、的確に対応していく必要があります。会員の高齢化等も踏まえ、コロナ感染症拡大の動向にも留意しながら、高齢者の受け皿としての機能を十分果たし、「社会の支え手」として実践できるよう、会員・役職員が一丸となって事業の推進に取り組んでまいります。

事業実施計画

1 目標値の設定（第2次中期5カ年計画数値）

(1) 会員数（全シ連が定める増加率5.8%）	174人
(2) 契約金額（請負・派遣・有料）	58,500千円
(3) 就業率	95%

2 高齢者就業機会確保事業の推進

事業所及び公共機関等への情報収集を行い就業機会の確保に努めます。

この就業拡大と会員拡大は、車の両輪と同じでどちらが欠けても目標は達成で

きないので、しっかりと取組みたいと思います。

(1) 高齢者活用・現役世代サポート事業の拡充

派遣業務（雇用契約、派遣先の指揮命令、その他）の依頼が増えています。

特に、会員が有する資格を活用するための情報収集に努め、就業拡大及び人員を確保したいと思います。

(2) 民間事業所等の長期就業につながる年間契約受注を確保できるよう努めます。

(3) 公共の就業はやりがいのある仕事として、希望者も多く、今後も公共受注の拡大に努めます。

(4) 家事援助のニーズに対応するため、さまざまな職種を開拓しながら全て対応できるよう努めます。

3 会員の拡大

(1) 新規入会者の初年度会費が免除されることから、この情報をいろんな機会にPRしながら入会促進を図ります。

(2) センターの広報誌、町広報誌、新聞の折込みチラシ及びホームページによる、独自事業等魅力ある活動のPRに努めます。

(3) 会員及び役職員への「口コミ作戦」を重点的にお願いする。

会員紹介による入会者があった場合は、紹介者には当センターより商品券（3,000円分）を進呈する。

(4) 退会者を抑えるための“働かない会員”も入会できる「いきいき会員制度」の啓蒙周知に努めます。

(5) チラシによる就業急募情報を提供して会員募集を図ります。

(6) 高齢者会員には身体に負担のかからない軽度の就業を推奨するため、その就業拡大と確保に努めます。

(7) 会員の社会活動促進として、町や各種団体のイベント及びボランティア活動への参加を呼びかけ、町民に対するシルバー人材センターのイメージチェンジを図ります。

(8) シルバー人材センター普及啓発活動の一環として、会員の社会参加活動及び相互の連携を深めることを目的として地域美化奉仕活動を実施します。

(9) 技術的要素を擁する後継者育成のため、講習会等の開催により人員確保に努めることと、仕事内容を再確認し、働きやすくすることを検討する。

(10) 女性会員のさらなる拡大を図るため、独自事業及び清掃業務拡大確保に努めます。

4 安全・適正就業の推進

シルバー人材センターの事業において最も重要視されるのが安全就業です。事

故発生件数を少なくするために、毎回いろんな形で講習会を開催してきました。

さらに、安全対策に対する自己意識を向上するために、情報を提供できる機会を増やして、徹底的に周知するよう努めます。

令和4年度の傷害事故は1件、賠償事故は3件発生しました。

作業現場の安全パトロールは、引き続き注意喚起に努め会員一人一人の安全意識を高め、周知徹底を図ります。

次に、適正就業については、「シルバー人材センター適正就業ガイドライン」の遵守を徹底するため、新会員及び仕事の依頼者に対し引き続き啓蒙に努めます。また、適正就業規程の設置を検討します。

5 独自事業の推進

高齢者会員の受け皿としてもこの事業を継続するよう関係機関及び会員等に働きかけます。また、働くこと以外にも仲間づくりや社会参加に生きがいを求める場を提供していきたいと思えます。

(1) 買い物支援移動販売事業

平成26年度に3地区2町内でスタートし、現在、5地区9町内、18カ所を対象に週1回の3日間移動販売をしております。スタッフもお客様との交流を楽しみにしながら、就業への生きがいも感じております。また、予約注文も定着し、日用雑貨品も受けております。季節や天候状況も踏まえて、お客さまのニーズに答えられるよう努めております。

(2) 認知症カフェ事業<オレンジカフェほっとあいらす>

開設9年目を迎えます。コロナ感染症対策により参加者を15名以内とし、自前の催し物などいろいろ内容を変えながら実施しております。

サポート役の会員は、外部研修の成果を踏まえ参加者への対応が向上するよう努めております。

(3) 「生きいき農園」の生産管理

会員が栽培した季節野菜を当センターにて安価で販売します。また、共同作業の楽しさ、生産への喜びを他の会員にも呼びかけます。

(4) ふれあいサロン<アイリス>の開放

地域住民のサークル活動の拠点として、会員の触れ合いの場として無償開放をしております。認知症カフェ等独自事業もこの場所で開催しております。

引き続き検温、洗浄及びマスク等のコロナ感染症対策を十分に図りながら行います。

(5) その他の事業

① 古本の貸出し。

サロン<アイリス>前のフロアを利用し、古本の無料貸出しをしています。

② 女性会員の集い

女性会員を対象に交流と情報交換を兼ねて、楽しい憩いの場を開催しております。

③ 正月用の門松造り

事業者用、家庭用等さまざまな形と大きさの物を作っています。予約者も徐々に増えており、他町でも安価で販売します。

④ 刃物研ぎ

使い慣れた包丁、ナタ、布鋏、剪定鋏等の研磨をしています。

⑤ 芋煮会

「生きいき農園」で収穫した里芋や野菜をふんだんに使った鍋汁です。

⑥ 健康麻雀大会

会員交流の場として「賭けない、吸わない、飲まない」をモットーに2月に大会を開催しています。

⑦ 会員主催等のサークル

会員及び互助会が主体となって開催するサークル等、教室、ボランティアへの参加を呼び掛けます。

(ア) 書道教室

(イ) 不用品交換会

(ウ) 太極拳教室

(エ) 地域包括支援ボランティアサークル

6 財政基盤の確立

自主財源の確保に努めるとともに、センター運営に最も重要な補助金及び移動販売等の委託事業については、町への要望を継続し、財政基盤の安定を図ります。

(1) 事務局体制の充実

現在の5人体制が継続できるよう安定した体制づくりを目指します。

職員が全ての事業運営に適応できるよう、いろいろな観点から物事を考え判断できるよう職員の資質向上を図ります。

(2) コロナ禍での事業開催となるので、その都度内容の見直しを図りながら努めます。

(3) 理事会、部会、委員会組織の充実に努めます。

(4) インボイス制度に伴うお客様への対応は懇切丁寧に説明し、理解を得るよう努めます。